

令和3年度第2回朝日町総合教育会議 会議録

令和3年9月28日（火曜日）
午前10時40分から午後0時5分
朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」

出席者 朝日町長 鈴木 浩幸
朝日町教育委員会
教育長 堀 俊一
委員 五十嵐義一
委員 井上 幸弘
委員 橋間 博美
委員 海野 睦

職務のため出席した者の職氏名

教育文化課長 阿部 正文
主幹 田中 靖士
課長補佐兼学校教育係長 佐々木直美（書記）
主査兼生涯学習係長 伊藤 雅樹

1. 開 会

課長の進行及び開会宣言

2. あいさつ

鈴木 浩幸 朝日町長
堀 俊一 教育長

3. 協議事項

阿部課長より会議の招集者である町長を議長とすることを確認し、了承を得る。

議長（鈴木町長） （1）令和4年度～令和6年度実施計画の概要（教育文化課分）について、説明を求めた

課長補佐 資料により、学校教育関係の新規項目及び主要事業等について説明

主査 資料により、生涯学習関係の新規項目及び主要事業等について説明

教育文化課長 資料により、西部公民館及び北部公民館関係の新規項目及び主要事業等について説明

議長（鈴木町長） （1）の協議内容について質疑、意見の有無を確認

主幹 学校教育関係について補足説明

不登校児童生徒対策活動事業の目的は自立と社会参加と保護者への支援です。

学びの保障と居場所づくりとして毎週木曜日の午前9時から午前12時までの3時間を事業の活動時間にする予定です。

議長（鈴木町長） 西村山地区内の状況について質問

教育長 西村山地区内の状況について説明

井上委員 国では子供庁の創設という話もあるが義務教育課程を修了した地域に残っている方の自立、社会参加を支援するには関係部局がお互い連携していく姿勢が大事である。小国町など民生部局と教育委員会が一緒にしている自治体もある。

議長（鈴木町長） かかわりのある部署が連携することは必要である。
松本亭を有効活用したありがたい事業となるのではないか。
そこに児童生徒が来るのは自由なのか。

主幹 その子にとっての居場所を作ることが目的なので自由です。
学校に戻すということが最終目的ではありません。

議長（鈴木町長） つながりの場ということだが出席についてはどうなるのか。

主幹 出席については校長判断です。

議長（鈴木町長） そういう取り組みをしていくうえで必要なものは些細なことでも支援し、その後につなげるように

五十嵐委員 不登校が1年続いても高校に進学ができるのか。

教育長 様々な道があります。気持ちのスイッチは自分で入れるが、そのチャンスを作っていくのは人とのつながりの中で見えてくると思います。

議長（鈴木町長） 進級について質問

教育長 義務教育は卒業できますが高校に進学してからは単位取得等が必要となり、義務教育と違い厳しいです。

議長（鈴木町長） 高校進学後の中退が増えている状況の中で今回の取り組みは意義がある。令和2年度は出生数が減少したが将来を担っていただく児童生徒を支援していくことは重要である。

主幹 現在のGIGAスクールの状況を説明。学校では導入した学習支援ソフトを大いに活用している。また、ICT教育に関わる研修としてICT支援員の講師派遣は学校として大変助かっている。令和4年度からはICT支援員派遣事業として町内小中学校へICT支援員を派遣し、教職員のICT機器活用スキルの向上と学習支援ソフトの活用推進を図ります。今後はタブレットの持ち帰りについて検討する必要があると考えます。タブレットの持ち帰りを実施している自治体の状況（保険加入、総合管理システムの導入、保護者との同意書等）を確認しながら、家庭のWi-Fi環境についての調査、モバイルルーターの貸出、家庭に持ち帰ってからのタブレット使用に関するルール作りなどが検討課題と考えます。

議長（鈴木町長） 総務文教常任委員会でタブレットを活用した授業を朝日中学校で視察したとのことだがその内容について質問

課長 決算監査の現場視察の目的をお話しし、それを踏まえたタブレット活用を実施した授業内容でした。インターネット機能を使用した山形大学生とリアルタイムでつながるなど進歩的な活用例を視察していただきました。

井上委員 1人1台タブレットの導入となったが今後は自治体で費用負担となる。その場合に自治体の予算によりICT格差が生じてくるのではないか。国・県の支援を、政治力を発揮して働きかけていけないといけないのではないか。小学6年生の自殺が報じられたがこれも功罪のひとつといえるのではないか。大人が想像する以上に児童生徒はICT機器を活用する。使用目的を明確にすることは重要なことである。

- 主幹 公教育として必要なことです。持ち帰りを実施している自治体ではタブレットの管理システムを導入し、家庭でインターネットを使用できる時間を制限しています。
- 議長（鈴木町長） 今後、学校の勉強はどうなるのかを質問
- 主幹 紙とタブレットの両方を活用したのになります。
- 海野委員 家庭でプリント、ドリルなど紙で勉強している様子を見ると安心する。
- 井上委員 デジタル教科書の知識の定着率はどうか。新聞の特集記事に掲載していたが学力に結びつかないとあった。
- 教育長 それぞれのいいところは残していくことも必要です。
- 主幹 タブレットの持ち帰りについては保護者が同意しない場合も想定されます。
- 教育長 今後、タブレット購入を保護者がするととなると負担は大きいです。いずれは町からプレゼントすることを検討してはどうでしょうか。
- 井上委員 財務省ではタブレットの初期導入は国で補助するがあとは自治体負担という考えである。町独自に保護者負担を軽減するのは良いのではないかと。
- 議長（鈴木町長） 朝日町ならではのGIGAスクール構想を実施するのは児童生徒の今後につながる。
- 議長（鈴木町長） (2) あさひまち未来の学校検討委員会について、説明を求めた
- 主幹 あさひまち未来の学校検討委員会について説明
今後2か月に1回程度、検討委員会を開催し1年かけて答申する予定です。
- 議長（鈴木町長） (2) の協議内容について質疑、意見の有無を確認
- 橋間委員 指名委員のみで開催した場合に公募委員はどう思うか。
- 課長 指名委員のみの場合は準備委員会として開催します。
- 議長（鈴木町長） 答申の時期について質問
- 教育長 令和4年9月議会と回答
- 課長 答申の前に令和4年8月教育委員会定例会に諮り令和4年9月議会に報告する予定です。
- 議長（鈴木町長） 事業状況を踏まえて柔軟に対応いただきたい。
- 課長 進捗があった時点で定例会にお諮りし、大きな進捗状況によっては臨時会を開催しお諮りします。
- 議長（鈴木町長） 来年9月議会を目途に進めるということだが学校関係というとな非常に難しい面もあると思われるが10~20年前とも状況も違っている。「将来の子供達のために」という視点で検討いただきたい。

4. 閉 会

以上、協議し、午後0時5分に第2回朝日町総合教育会議の会議を閉じた。

町 長

教 育 長

調 製 職 員 佐 々 木 直 美